

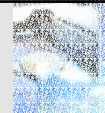


富士通のグリッドに対する取り組み

2005年 1月 7日

富士通株式会社 運用管理ソフト事業部
田崎英明

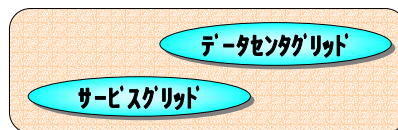
富士通が考えるグリッドの全体像



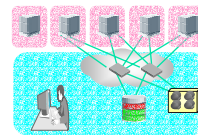
【利用者の視点】



【IT資源管理の視点】



利用者



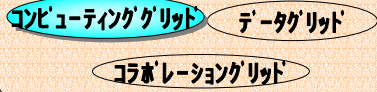
管理者



- 統合: 業務に必要なIT基盤を動的に構築
- 仮想: 分散した様々なITリソースの複雑性を隠蔽
- 自律: 個々のITリソースの高信頼化

エンタープライズグリッド製品群

【利用者の視点】



Systemwalker CyberGRIP

ネットワーク上に分散しているサーバを共有し、必要な時に必要なだけ、効率的に提供する

- 大量の計算処理を分散実行し、より速く、より高い精度の処理を実現
- バッチ業務のサーバ故障トラブルなどの悩みを解決
- 新旧様々なリソース群を有効活用

【IT資源管理の視点】



Systemwalker Resource Coordinator

ITシステムの全体最適化を実現するためのリソース制御ソフトウェア

- システムを構成するサーバ、ストレージ、ネットワーク等のリソースを一元管理
- 構成や状態はもちろん、トラブル発生時の影響や原因を可視化する
- 導入や構成変更、トラブル時の対処、定期保守などを自動化/簡易化する
- 作業における運用管理者の判断や介入に伴う負担を軽減

2005.1.7

3

All Rights Reserved, Copyright (C) 富士通株式会社 2005

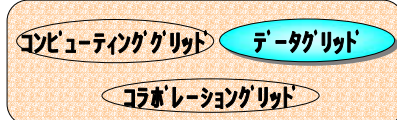
標準化と今後の取り組み

OGSA

Open Grid Services Architecture

OGSAはグリッドのための、Webサービス技術仕様に基づく、サービス指向アーキテクチャ

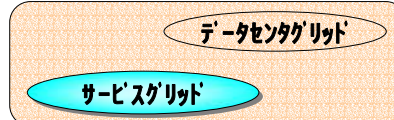
【利用者の視点】



統合的な情報活用による、新たなデータ活用方法の実現

- 広域データ共有
- 横断DB検索
- 仮想DB化

【IT資源管理の視点】



サービス指向アーキテクチャをベースに、Webサービス技術、グリッド技術を、システム構築基盤製品に適用・強化

Symfoware

Interstage

富士通は国内最大のSE集団を抱え、様々なグリッドプロジェクトを通じてノウハウ蓄積があります。どの様なお客さまに対しても、最適なグリッドコンピューティング適用を提案し、構築・サポートを行います

2005.1.7

4

All Rights Reserved, Copyright (C) 富士通株式会社 2005

The Fujitsu logo, featuring the word "FUJITSU" in a red, serif font. The letter "J" is stylized with a red infinity symbol above it.

THE POSSIBILITIES ARE INFINITE